

「ANA中部空港株式会社 見学会」 再び盛り上がりを見せる航空業界へ 愛知学院大学学生 12名が参加

コロナ下での挑戦、会社を超えた連携

愛知学院大学（所在地：愛知県日進市、学長：引田 弘道）は2021年4月より、ANA中部空港株式会社（所在地：愛知県常滑市、代表取締役社長：前田明生）でグランドスタッフとして働く4名を出向職員として受け入れています。これまで出向職員と本学キャリアセンター職員とが連携し、航空業界を目指す学生が「リアルな業界の特徴・仕事内容を感じ、学ぶことができる」をコンセプトに、学内外で様々なイベントを開催してきました。

「ANA中部空港株式会社 見学会」は今回の出向を締めくくるイベントで、2023年2月10日（金）に開催されました。航空業界に興味のある学生12名が参加し、普段は目にする事のない空港のリアルな現場を見学。また施設見学の後は各現場担当者との座談会を開催し、学生たちは、見学で生まれた疑問のほかに、仕事に取り組む姿勢や就職活動にあたり必要と思うことなどを質問しました。

見学の詳細

今回の見学では、ANA中部空港に所属するさまざまな部署の現場を巡り、各現場のプロフェッショナルから業務内容の解説を聞くことができました。

これまでのイベントではグランドスタッフに焦点を当て、カウンターや搭乗口などをメインに見学していましたが、それらに加えて、旅客視点では決して見る事のできないオペレーションマネジメント部、グランドサービス部の現場を見学。オペレーションマネジメント部では、飛行機の運航に関わる全ての情報が集まる中で各現場への指示や情報共有が行われる様子を見学しました。



チェックインカウンター見学の様子。



屋外見学中、最新機器が飛行機の前輪を持ち上げ移動させる様子を見ることができました。写真はそのリモコンについての説明を聞く学生。熱心にメモを取っていました。

グランドサービス部では、飛行機が到着してから出発するまでの作業を駐機する飛行機の側で見学することができました。小雨が降る中での見学でしたが、荷物が雨に濡れないような積み降ろしの工夫などに学生からは「仕事の先にお客様がいるという意識をひしひしと感じられた」と、接客以外の仕事にあるお客様への配慮に感心した様子でした。

また、様々な仕事に対する知見を得たことで、1機の飛行機の運行にそれぞれが密接に関わり合い、一丸となっている様子をよりリアルに体験できました。

社員との座談会

座談会では、見学したそれぞれの部署の職員が参加し、学生からの質問に答えました。学生からは「実際に現場で働く人たちの言葉を直接聞くことはすごく重みがあって、心に響いた」「就活がゴールじゃない」という言葉にハッとした」「ちょっとした好奇心で参加したが、こういった小さなきっかけから、自分の視野を広げることが出来るんだと学びました」という感想が寄せられました。

学生にとっても厳しい状況が続いた中で、近い将来、社会で活躍する姿を思い描く素晴らしいきっかけとなりました。

「ANA中部空港株式会社 見学会」の概要

開催日時：2023年2月10日（金）

所要時間：3時間15分

開催場所：中部国際空港

スケジュール：

9：45～ 9：55 オリエンテーション

9：55～12：05 空港施設見学

12：15～12：55 座談会

12：55～13：00 クロージング

参加者：航空業界に興味のある1～2年生 12名



搭乗口の見学（写真上）。屋外見学ではバスに乗って飛行機の間近で作業を見学（写真中）。座談会の様子（写真下）。